

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0904009

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	B	
単位施策	3 住民を支える商店街づくりへの支援	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	移動販売推進事業	見直し年度		
事業期間	平成23年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	巡回先件数		#N/A	
事業目標	巡回先件数	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	町内商店が扱う食料品・日用雑貨を中心に車両(トラック)を利用して幌内・魚田地区を主に定期的巡回し移動販売を行う。併せて高齢者等の要望を踏まえて宅配事業も実施する。また、将来的には食料品・日用雑貨のほかに、町内飲食店の参加も得て、食事宅配も実施し事業拡大を図る。				○人件費 2,400,300円 販売従事者 7,000円×270日=1,890,000円 社会保険料等 1,890,000円×27%=510,300円 ○事業費 2,504,460円 燃料費 @140円×15L×270日 =567,000円 電話等リース代 @10,000円×12カ月 =120,000円 諸経費 @3,087,300×20% =617,460円	車両リース料 @100,000円×12カ月 =1,200,000円 合計 4,904,760円 ※当該経費の1/2以内	
計画事業費	事業費(千円)	4,900	0	0	0	2,450	
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	4,900				2,450	
実績事業費	事業費(千円)	3,050	0	0	0	650	
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	3,050				650	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】				(実施内容等) 事業費に係る1/2を補助	(実施内容等) 事業費に係る80%を補助	
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値					登録会員数100人
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	27%	98%
	全体達成率	0%	0%	0%	13%	62%	
	事業進捗状況				☆☆☆	☆☆☆	

事業名	移動販売推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	住民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	登録会員数														
【抱える課題やニーズは】	市街地、郊外地区の居住者で交通手段の持たない高齢者、独居老人世帯が増加している現状。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値														
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	商工会で実施する移動販売推進事業により、買い物ができる便利さと、個展経営等の改善が図られることを目指した。	①	登録会員数														
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	巡回先の住民支援及び商工業者の活力の向上を目指す。		<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>50.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	100人	実績値	50人	達成度	50.0%						
目標年度	平成24年度																
目標値	100人																
実績値	50人																
達成度	50.0%																
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	<table border="1"> <tr> <td>商工会へ事業費補助</td> <td>買物に不便を強いられている高齢者への御用聞き及び宅配事業に対する事業費補助(80%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	商工会へ事業費補助	買物に不便を強いられている高齢者への御用聞き及び宅配事業に対する事業費補助(80%)					②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
商工会へ事業費補助	買物に不便を強いられている高齢者への御用聞き及び宅配事業に対する事業費補助(80%)																
目標年度	年度																
目標値																	
実績値																	
達成度	#DIV/0!%																

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	商店街での買い物に不便を強いられている高齢者や商工業者の活力の向上を目指すためにも本事業の補助は必要と判断される。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	登録者(利用者)数が目標に達していないものの、事業自体は円滑に遂行されており、高齢者等の利便性の向上が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	買物弱者への利便性の向上ばかりでなく、商業者及び商店街全体の活性化の一助となっている。また、訪問による安否確認など、地域福祉の増進に寄与されている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	商店街での買い物に不便を強いられている高齢者へ実施している事業であり(登録に関する負担はない)、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
高齢者等の買物弱者の利便性及び町内商店の活性化一助となる重要な事業であるが、登録者数が目標達成しておらず、登録者増員に向けた取り組みが必要である。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
買物弱者対策として利便性を更に提供し、会員数や利用実績の増加と商店街の活性化を図るため、商工会と連携のうえ制度改善し、事業を継続する必要がある。	同左	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止